

3. ガイド本の製作

100を超える出展ブースや同時進行する魅力的なプログラムが多数あることから、来場予定者及び来場者がより大会の内容を知っていただけるよう、また、少しでも効率的に会場を周遊出来るよう『第13回食育推進全国大会inおおいたを100倍味わう!』を製作・配布しました。



第13回 食育推進全国大会 イムグループ

6月23日(土)

6月24日(日)

6月25日(月)

6月26日(火)

6月27日(水)

6月28日(木)

6月29日(金)

6月30日(土)

7月1日(日)

7月2日(月)

7月3日(火)

7月4日(水)

7月5日(木)

7月6日(金)

7月7日(土)

7月8日(日)

7月9日(月)

7月10日(火)

7月11日(水)

7月12日(木)

7月13日(金)

7月14日(土)

7月15日(日)

7月16日(月)

7月17日(火)

7月18日(水)

7月19日(木)

7月20日(金)

7月21日(土)

7月22日(日)

7月23日(月)

7月24日(火)

7月25日(水)

7月26日(木)

7月27日(金)

7月28日(土)

7月29日(日)

7月30日(月)

7月31日(火)

8月1日(水)

8月2日(木)

8月3日(金)

8月4日(土)

8月5日(日)

8月6日(月)

8月7日(火)

8月8日(水)

8月9日(木)

8月10日(金)

8月11日(土)

8月12日(日)

8月13日(月)

8月14日(火)

8月15日(水)

8月16日(木)

8月17日(金)

8月18日(土)

8月19日(日)

8月20日(月)

8月21日(火)

8月22日(水)

8月23日(木)

8月24日(金)

8月25日(土)

8月26日(日)

8月27日(月)

8月28日(火)

8月29日(水)

8月30日(木)

8月31日(金)

9月1日(土)

9月2日(日)

9月3日(月)

9月4日(火)

9月5日(水)

9月6日(木)

9月7日(金)

9月8日(土)

9月9日(日)

9月10日(月)

9月11日(火)

9月12日(水)

9月13日(木)

9月14日(金)

9月15日(土)

9月16日(日)

9月17日(月)

9月18日(火)

9月19日(水)

9月20日(木)

9月21日(金)

9月22日(土)

9月23日(日)

9月24日(月)

9月25日(火)

9月26日(水)

9月27日(木)

9月28日(金)

9月29日(土)

9月30日(日)

10月1日(月)

10月2日(火)

10月3日(水)

10月4日(木)

10月5日(金)

10月6日(土)

10月7日(日)

10月8日(月)

10月9日(火)

10月10日(水)

10月11日(木)

10月12日(金)

10月13日(土)

10月14日(日)

10月15日(月)

10月16日(火)

10月17日(水)

10月18日(木)

10月19日(金)

10月20日(土)

10月21日(日)

10月22日(月)

10月23日(火)

10月24日(水)

10月25日(木)

10月26日(金)

10月27日(土)

10月28日(日)

10月29日(月)

10月30日(火)

10月31日(水)

11月1日(木)

11月2日(金)

11月3日(土)

11月4日(日)

11月5日(月)

11月6日(火)

11月7日(水)

11月8日(木)

11月9日(金)

11月10日(土)

11月11日(日)

11月12日(月)

11月13日(火)

11月14日(水)

11月15日(木)

11月16日(金)

11月17日(土)

11月18日(日)

11月19日(月)

11月20日(火)

11月21日(水)

11月22日(木)

11月23日(金)

11月24日(土)

11月25日(日)

11月26日(月)

11月27日(火)

11月28日(水)

11月29日(木)

11月30日(金)

12月1日(土)

12月2日(日)

12月3日(月)

12月4日(火)

12月5日(水)

12月6日(木)

12月7日(金)

12月8日(土)

12月9日(日)

12月10日(月)

12月11日(火)

12月12日(水)

12月13日(木)

12月14日(金)

12月15日(土)

12月16日(日)

12月17日(月)

12月18日(火)

12月19日(水)

12月20日(木)

12月21日(金)

12月22日(土)

12月23日(日)

12月24日(月)

12月25日(火)

12月26日(水)

12月27日(木)

12月28日(金)

12月29日(土)

12月30日(日)

12月31日(月)

1月1日(火)

1月2日(水)

1月3日(木)

1月4日(金)

1月5日(土)

1月6日(日)

1月7日(月)

1月8日(火)

1月9日(水)

1月10日(木)

1月11日(金)

1月12日(土)

1月13日(日)

1月14日(月)

1月15日(火)

1月16日(水)

1月17日(木)

1月18日(金)

1月19日(土)

1月20日(日)

1月21日(月)

1月22日(火)

1月23日(水)

1月24日(木)

1月25日(金)

1月26日(土)

1月27日(日)

1月28日(月)

1月29日(火)

1月30日(水)

1月31日(木)

2月1日(金)

2月2日(土)

2月3日(日)

2月4日(月)

2月5日(火)

2月6日(水)

2月7日(木)

2月8日(金)

2月9日(土)

2月10日(日)

2月11日(月)

2月12日(火)

2月13日(水)

2月14日(木)

2月15日(金)

2月16日(土)

2月17日(日)

2月18日(月)

2月19日(火)

2月20日(水)

2月21日(木)

2月22日(金)

2月23日(土)

2月24日(日)

2月25日(月)

2月26日(火)

2月27日(水)

2月28日(木)

2月29日(金)

3月1日(土)

3月2日(日)

3月3日(月)

3月4日(火)

3月5日(水)

3月6日(木)

3月7日(金)

3月8日(土)

3月9日(日)

3月10日(月)

3月11日(火)

3月12日(水)

3月13日(木)

3月14日(金)

3月15日(土)

3月16日(日)

3月17日(月)

3月18日(火)

3月19日(水)

3月20日(木)

3月21日(金)

3月22日(土)

3月23日(日)

3月24日(月)

3月25日(火)

3月26日(水)

3月27日(木)

3月28日(金)

3月29日(土)

3月30日(日)

3月31日(月)

4月1日(火)

4月2日(水)

4月3日(木)

4月4日(金)

4月5日(土)

4月6日(日)

4月7日(月)

4月8日(火)

4月9日(水)

4月10日(木)

4月11日(金)

4月12日(土)

4月13日(日)

4月14日(月)

4月15日(火)

4月16日(水)

4月17日(木)

4月18日(金)

4月19日(土)

4月20日(日)

4月21日(月)

4月22日(火)

4月23日(水)

4月24日(木)

4月25日(金)

4月26日(土)

4月27日(日)

4月28日(月)



第13回食育推進全国大会inおおいた

23:24
土・日曜日

終日

404 会議室

主催：(公社) 大分県栄養士会

正しく知ろうスポーツ栄養 ～スポーツをするジュニアから シニア期の食生活～

23 日 10:00～10:45 スポーツをするシニア期の食事
23 日 15:00～16:00 スポーツをするジュニア期の食事
24 日 10:00～10:45 スポーツをするシニア期の食事
24 日 14:15～15:30 スポーツをするジュニア期の食事

ここがポイント

スポーツをするジュニア～シニア期の食事について公認スポーツ栄養士が講話。赤ちゃんから若い方を中心に栄養相談も実施します。

能澤 保子氏

23:24
土・日曜日

終日

405 会議室

主催：(公社) 大分県栄養士会

高齢者のための栄養・食生活について ～楽しく、おいしく食べ元気に過ごす ために～

23 日 11:00～12:00 高齢者の低栄養を防ぐ
23 日 13:30～14:30 高齢者の低栄養を防ぐ
24 日 11:00～12:00 高齢者の低栄養を防ぐ
24 日 13:00～14:00 高齢者の低栄養を防ぐ

ここがポイント

高齢者の低栄養・中年からの肥満、夜尿等の発症を防ぐために「フランスの食生活」を模するよう講話、栄養相談も実施します。

中田 恵子氏

23
土曜日

10:00～11:00

キッチンスタジオ

大分の料理

「世界と繋がる大分の料理～福沢諭吉先生と 坐来大分が創るトレンドとは～」

講
師

坐来大分 安心隆 澤 聡紀院長
株式会社 生活工房とうがらし
代表 神谷 慎恵さん

坐来大分 澤聡紀院長

ここがポイント

新幹線を日本に導入した福沢諭吉先生のレシピを復刻し、食を通じて情報発信する坐来大分の取組を紹介します。

24
日曜日

10:00～12:00

キッチンスタジオ

主催：別府大学食物栄養科学部食物栄養学科

みんなと一緒においしく！楽しく！ アレルギーの子どものための スイーツタイム

ここがポイント

鶏卵、牛乳、小麦を材料に
使わなくても、おいしいス
ウィーツができました。
クッキングを楽しみませ
んか？

24
日曜日

13:30～14:30

キッチンスタジオ

主催：(公社) 日本食文化推進協会キッチン 大分チーム

出汁から作る！親子で手作り 「だんご汁」

ここがポイント

自分と作る出汁はやっぱり美味しい！子ども達が「作
具を持ってきつかけに、大分の郷土料理と一緒に作

24 日曜日	10:40～12:00 大ホール シンポジウム 「食育ってなんですか？ あなたのたべること教えてください。」	
パネラー 竹下 和男先生 元香川県小中学校校長 井田の日の実業・実践・提言	時松 和弘さん 大分文化風土を継承する有機農産家 農産物取扱専業	衛藤 めぐみさん 高齢者の食や暮らしに着目し、食生活と食土料理をつなげる有機農産家 めぐみちゃん工房主宰 梯 哲哉シェフ 大分の地産地消のレストランのバイオニア Ota & Setta Ota オータニジフ
ここがポイント	生きる力を養うという「井田の日」の本質と、事前アンケートを受けた総評を竹下先生に語っていただきます。また、県内で食育活動をしている方々に大分ならではの食育とは何か、を一緒に考え、提案していただきます。まさに、THIS IS 食育。の時間です。	
24 日曜日	12:15～12:45 15:00～15:30 大ホール おもしろい！アンパンマン ショー 15分ステージ 12:15～12:45 30分ステージ 15:00～15:30	24 日曜日 13:45～14:45 大ホール トークショー 平野レミさん
 ©なせなせ/フレールベルグ・TM S・NTV	 「シンジさん、料理が大好きなの、楽しい！」「クッキー」	
23・24 土・日曜日	終日 201 会議室 説明書 明日からの指導で使える食育教材 各団 定員45名 (1回45分) 「食育の時間」体験授業	6月23日 (土) 11:00～11:45 14:00～14:45 16:00～16:45 来場者特典 「食育の時間」 第10号DVDの食育実演を電子でプレゼント！

日本食文化の発展	「好きなものだけ食べちゃいけないの!」 ■対象者 学校等で食育の授業を担当・指導する方 	6月24日 (日) 12:00~12:45 14:00~14:45 15:00~15:45	 
	一校一食育 楽しく食育体験、入場自由 親子でチャレンジ!『食育ゲーム』 ・パランスこんだて作りにチャレンジ ・食品分類ゲーム ・基礎代謝率測定?してみよう! ・手洗いチェックカード作り その他、1〜5歳までの子どもが楽しめるイベントがあります。 	6月23日 (土) 10:00~10:50 12:00~13:50 15:00~15:50	 ハンバーガー無料券プレゼント!
		6月24日 (日) 11:00~11:50 13:00~13:50	

大会の概要

1. 目標及びテーマ

大会は、2日間という限られた時間であるということ、食育は裾野が広くわかりづらいことを考慮し、「若者や親子世代に対して食育の大切さを伝える」、「健康寿命日本一の契機とする」、「地域の食文化を守り継承する」という3つの目標を掲げ、来場者に少しでも食の大切さを訴求することとしました。また、「みんなでかたろう 食育のすすめ～うまい!楽しい!元気な大分～」を大会テーマに設定し、一方的に“聴く”のではなく、一緒に食について学ぶ参加型・体験型行事としました。

大会の目標

●若者や親子世代に対して食育の大切さを伝える

情報の提供や体験活動を通して食に関する知識・意識・スキルの向上を図る

●健康寿命日本一の契機とする

食を通した健康づくりや生活習慣病予防につながる

●大分県の食文化を守り継承する

本県の地域特性のある食文化の継承、食事作法などの取組を通した食の情報発信を行う

大会テーマ

**みんなでかたろう 食育ノススメ
～うまい!楽しい!元気な大分～**

【解説】

みんなでかたろう=みんなで「語りあう」イベント、みんなが「かたる(方言で参加する意味)」イベントであることを表現。

食育ノススメ=大分県にゆかりのある福沢諭吉の「学問ノススメ」にちなんで

サブタイトル=第3期大分県食育推進計画のキャッチコピーである「うまい!楽しい!元気な大分」をそのまま使用

一方的に“聴く”のではなく、一緒に学ぶ

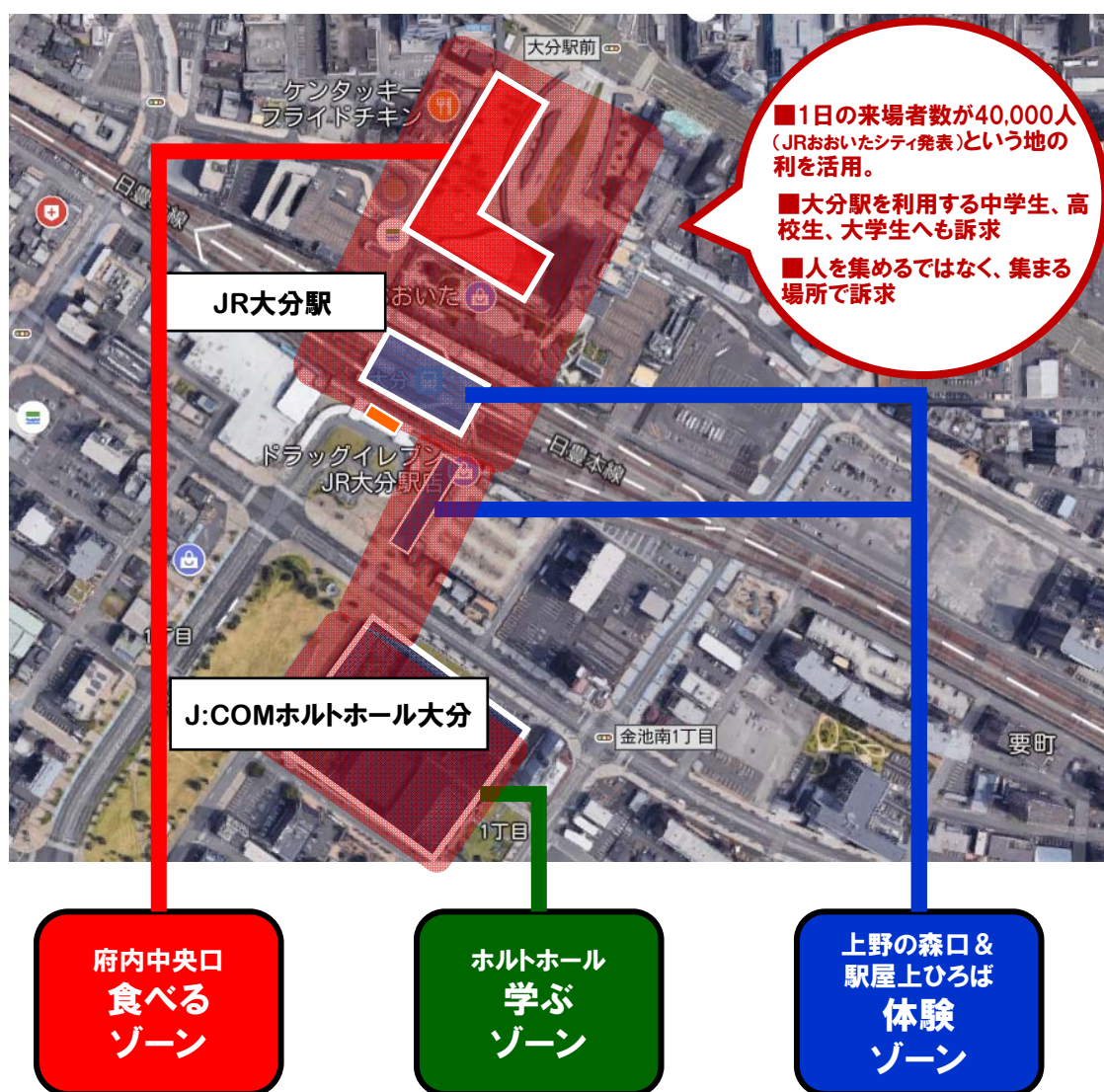
参加型・体験型行事へ

2. 会場のゾーニング

会場が、J:COMホルトホール大分、JR大分駅及びその周辺という平面的な広がりがあったことから、エリア全体を会場に見立て、「学ぶ、体験、食べる」の3つのゾーンに分け、大会当日大分駅を乗降する一般の方々にも自然に食育をアピールし、参加を可能にしました。

来場者がわかりやすく食育を体験するために

J:COMホルトホールとJR大分駅を中心に、 ゾーン分けして会場を構成



JR大分駅中央口～J:COMホルトホールと平面的な広がりがあることから、ゾーニングするとともに周遊性を高めるためにスタンプラリーを実施

3. イベントコンテンツ

大会イベントとしては、大きく3つ。

一つ目が、J:COMホルトホール内の大ホールや各会議室、キッチンスタジオを使用して式典、シンポジウム、講演会、セミナーが行われました。

大会の一つのメイン行事である第2回食育活動表彰式では、農林水産大臣賞7団体、農林水産省消費・安全局長賞14団体に表彰状が授与されました。

講演会・シンポジウム、アトラクションでは、葛西紀明選手（平昌オリンピックスキージャンプ日本代表）、平野レミさん（料理愛好家）、石毛直道氏（元国立民族学博物館館長）、服部幸應氏（学校法人服部学園理事長）からアンパンマンまで、全国大会にふさわしい日本を代表する顔が揃いました。また、2020年の東京五輪に向けたホストタウンセミナー、食品ロス削減に向けたワークショップ、和食を中心とする日本の食文化シンポジウムなどのグローバルなものから、食育映画上映会、食育授業プログラムの提供や食事のバランスチェック、栄養指導などの身近なものまで、さまざまな「食」に関して参加者に考えてもらう機会となりました。キッチンスタジオでは、親子を対象にしたみそ汁や郷土料理の料理教室、県産食材を使用した中華料理の実演、アレルギー代替品でのスイーツづくりなど、多様な料理教室も開催されました。

二つ目が、JR大分駅府内中央口広場の特設ステージでのイベントです。蒸し料理の第一人者である平山一政氏やこうじ屋ウーマンこと浅利妙峰さんなど、全国的にも著明な大分県関係者、農林水産省消費・安全局長賞を受賞した育ドル娘、県内の有名シェフ、別府市学校給食調理員等食育に係る多彩な役者が舞台上で躍動しました。

三つ目が、ブースでの啓発資料を使った体験、食育の啓発パネル展、試食提供などです。J:COMホルトホール大分、JR大分駅及びその周辺の利用可能なスペースを最大限活用したことから、やや手狭なブースでしたが、全国各地からの参加もいただき、111団体の出展がありました。

JR大分駅府内中央口広場の食べるゾーンでは、2日間にわたり、大型テントの中で蒸し料理の体験や地産地消の視点からマルシェが開催されました。また、農林水産業を担っている女性グループによる郷土料理の提供、県内各地の子供達が地域の産品を利用して料理を提供することも屋台、高校生、短大生、専門学校生などが創意工夫を加えた料理などの出展もあり、昼過ぎにはほぼ完売状態というほど好評を博しました。

正午からは、タイムアトラクションとして、共食を推進する「大分版ロングテーブル」が両日開催され、葛西紀明選手や平野レミさんの飛び入り参加もあり、会場は多いに盛り上がりました。

JR大分駅構内でも、5つの展示ブースが設置され、また、（公社）ツーリズムおおいた、大分市の協力のもと、観光案内所が特設され、県外からの来場者に対して県内各地域への観光や今秋開催される国民文化祭のPRを行いました。

JR大分駅上野の森口広場等の体験ゾーンでは、一次産業を中心に各種の体験ブースが軒を並べました。活魚のタッチプール、農業機械の試乗、しいたけの駒打ちなど、生産現場からそのまま飛び出してきたコーナーもあり、来場した子供さん達の滞在時間も長くなったようです。

JRおおいたシティ屋上広場でも21のブースが設置され、特に2日目には、常に300人程度が屋上に参集していました。

J:COMホルトホール1階と周辺の学ぶゾーンでは、各出展団体により工夫を凝らしたブースが多数並びました。ブースの中では、ミニ講演会、クイズ、試食や試飲、各種学びの体験が行われました。模型ではない「本物」を伝えるという考え方で「仔牛のほ乳体験」のブースなどもあり、生産者、企業、県民、行政、学校関係者等食育を伝える方々の熱い思いを感じました。

4. 終わりに

大会の最後は、JR大分駅府内中央口広場の特設ステージで、安東隆大分県副知事から次期開催地である山梨県の山梨県県民生活部 三井薫次長への引継式が行われ、盛会のうちに幕を閉じました。

大会来場者は、当初の目標である20,000人を大きく上回る33,500人を集め、「若者や親子世代に対して食育の大切さを伝える」、「健康寿命日本一の契機とする」、「地域の食文化を守り継承する」という当初の3つの目標も十分に達成出来たものと考えています。大会の準備や運営を通して、生産者、企業、県民、行政、学校関係者など、食育関係者のネットワークが出来たことも数字には現せない成果といえます。

また、来場者視点にたって、県内向けチラシの製作・配布、可能な限りのプログラム参加について事前予約制の撤廃、農林水産省ブースと開催自治体ブースの色分けの解消など新しい取組も行いました。

しかしながら、開催までの情報発信、主催者である農林水産省と開催自治体との業務分担、地方開催することの意義等、課題も多く残されました。次期開催地には、これらの課題を一つでも二つでもクリアしていただき、よりよい食育推進全国大会になることを切に願います。